

TOTO


リモデルユニット

L052・53・54、LOE2



商品の機能が十分に発揮されるように、この説明書の内容に沿って正しく取り付けてください。
取り付け後は、お客様にご使用方法を十分にご説明ください。

1) 安全上のご注意

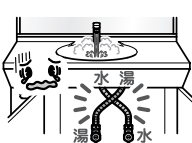



- 取り付け前に、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しく取り付けください。
- この説明書では、商品を安全に正しく取り付けいただくために、必ずお守りいただくことを、お知らせしています。
- 使用者や他の人々への危害や物的損害を未然に防止するために、必ずお守りください。

表示	意味
 注意	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性及び物的損害の発生が想定される内容を示しています。

■お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。

	⊘は、してはいけない「禁止」内容です。		Ⓜは、必ず実行していただく「強制」内容です。
--	---------------------	---	------------------------

注意

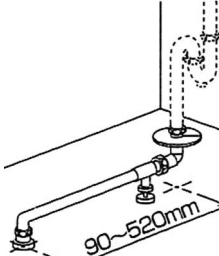
<p>湯・水を逆に配管しない 水側でいきなり湯が出て、やけどをするおそれがあります。</p>  <p style="text-align: center;">禁止</p>	<p>凍結のおそれがある地域では、必ず凍結防止工事を行う</p> <p> 凍結破損で水漏れし家財などに損害を与えるおそれがあります。 必ず実行</p>
<p>取り付け完了後、給排水管から水漏れがないことを必ず確認する</p> <p> 水漏れを起こすと、家財などに損害を与えるおそれがあります。 必ず実行</p>	<p>排水リモデルユニットの連結管切断後は、端部のバリ・汚れを完全に除去する</p> <p> 水漏れを起こすと、家財などに損害を与えるおそれがあります。 必ず実行</p>

2) 取り付け完了図

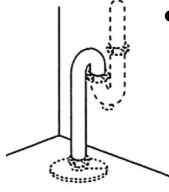
•図中の点線部の部品は付属されておりません。

排水用リモデルユニット

【排水用リモデルユニット (L052)】 【床排水管 (LOE2)】



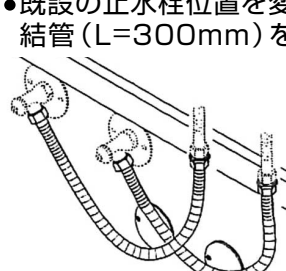
•既設の排水管位置を変更することなく、連結管 (L=520mm) を用いて排水トラップと接続することができます。



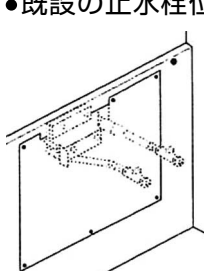
•TOTO洗面化粧台オーバルシリーズのときに使用します。

給水用リモデルユニット

【連結管セット (L053)】 【化粧板セット (L054)】



•既設の止水栓位置を変更することなく、連結管 (L=300mm) を用いて水栓と接続することができます。



•既設の止水栓位置を変更した後に化粧台を設置できます。
(化粧台内部で配管取り付けするのは困難です。)

3) 部品明細

排水用リモデルユニット

【排水用リモデルユニット (L052)】

名称	数量
1 排水ふた	1枚
2 木ねじ (φ3×12)	3本
3 連結管	1本
4 連結管支持具	1セット
5 エルボ	1セット
6 排水ソケット	各1個

40mm用 50mm用

【床排水管 (LOE2)】

名称	数量
1 床排水管	1本

給水用リモデルユニット

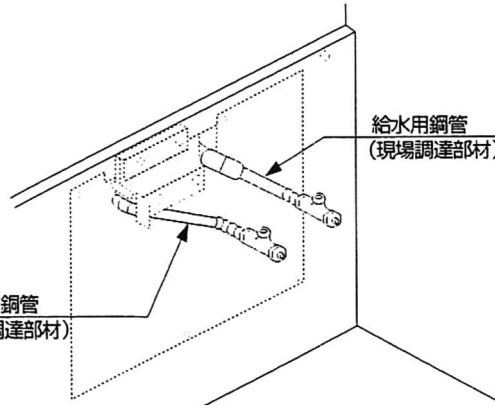
【連結管セット (L053)】

名称	数量
1 塞ぎふた (給水用)	2枚
2 木ねじ (φ3×12)	4本
3 連結管	2本
4 ニップル	2個
5 パッキン	4枚

【化粧板セット (L054)】

名称	数量
1 化粧板	1枚
2 木ねじ (φ3×10)	6本
3 スペース	1個
4 木ねじ (φ4.5×30)	2本

【現場調達配管部材 (L054 使用の場合のみ)】



給水用銅管 (現場調達部材)

給湯用銅管 (現場調達部材)

	名称	数量	備考
給水用	ライニングエルボ	2個	
	ライニング六角ニップル	2個	
	ライニング銅管	1本	製品に合わせて寸法を設定してください。
給湯用	銅管用エルボ	2個	
	銅管用オスねじアダプタ	2個	
	銅管	1本	製品に合わせて寸法を設定してください。
	銅管	2本	L=25mm (連結用)
	断熱材	1個	L=300mm (16mm用)

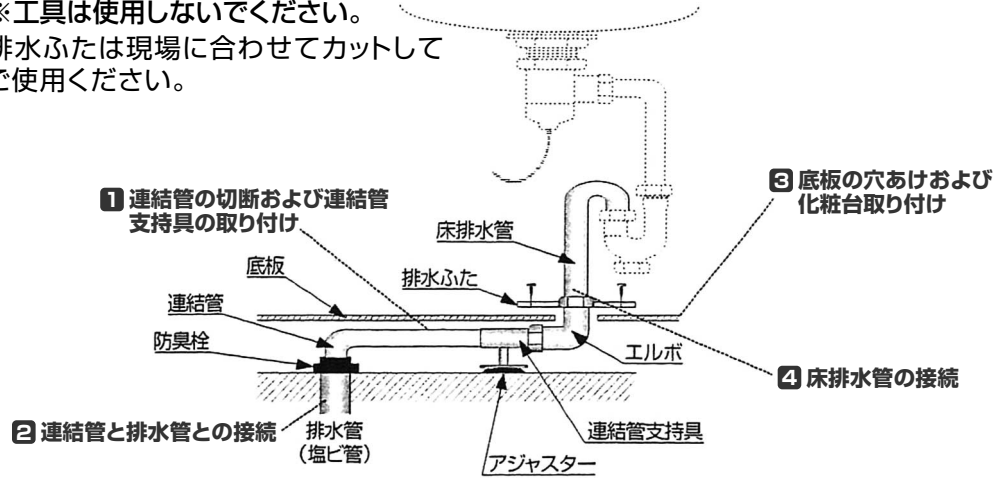
4) 取り付け手順

排水用リモデルユニット (L052)

下図の番号順に取り付けてください。

〈取り付け上の注意〉

- ナットは手で確実に締め付けてください。
※ 工具は使用しないでください。
- 排水ふたは現場に合わせてカットしてご使用ください。

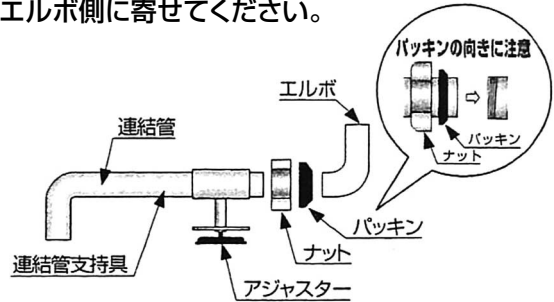


1 連結管の切断および連結管支持具の取り付け

- 化粧台を仮置きして、標準排水位置から既設排水管までのA寸法を測定してください。
- 連結管を「A寸法-20mm」の長さで切断してください。



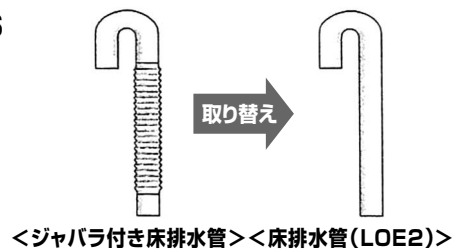
- 連結管支持具に連結管を挿入してエルボをナット、パッキンで接続してください。
※ 連結管支持具はエルボ側に寄せてください。



床排水管ユニット (LOE2)

洗面化粧台が、TOTOオーバルシリーズ (LDE6□□、LDE7□□) のときにのみ使用します。

- 化粧台に付属されているジャバラ付きの床排水管は、ジャバラ径の違いにより排水用リモデルユニットでは使用できません。LOE2に付属の床排水管に取り替えてご使用ください。



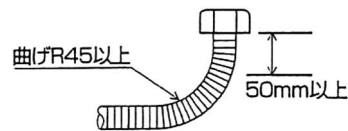
給水用リモデルユニット (連結管セット L053)

1 給水・給湯の穴あけおよび止水栓向き調整

- 既設の給水・給湯位置に合わせて、化粧台裏板に穴あけしてください。
※ 壁給水で台輪をセットする場合、台輪の高さを考慮して穴あけしてください。
- 給水、給湯パイプを接続しやすいように、止水栓の向きを調整してください。

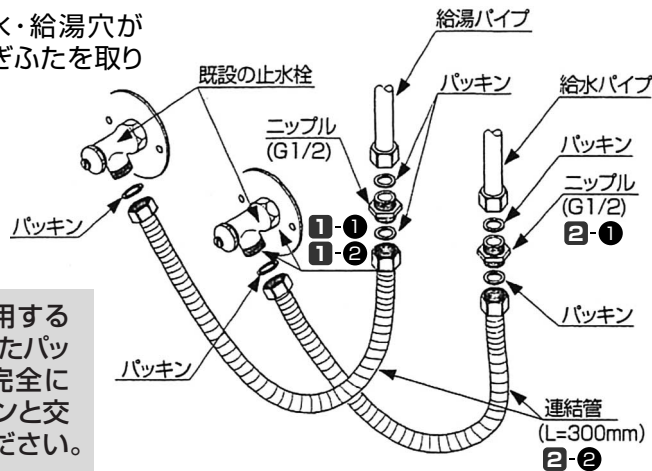
2 連結管・ニップルの取り付け

- 水栓側の給水・給湯パイプに、付属のニップル、パッキンを取り付けてください。
- ニップル・パッキンと止水栓を連結管 (L=300mm) で接続してください。
※ ナットは、工具で確実に締め付けてください。
※ 連結管は無理に曲げないでください。
また、接続箇所から50mm以上離れた位置から曲げ始めてください。



3 塞ぎふたの取り付け

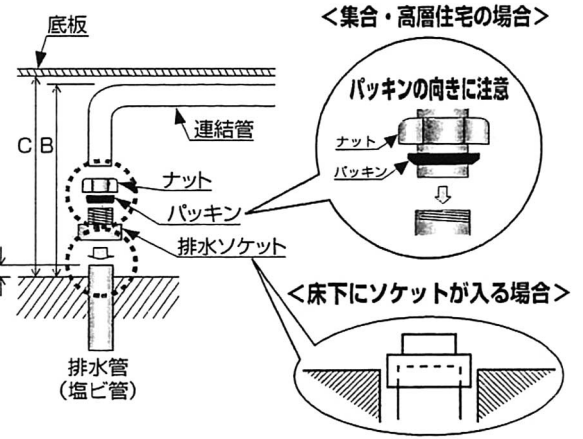
- 洗面化粧台にあらかじめ給水・給湯穴が開いている場合は、付属の塞ぎふたを取り付けてカバーしてください。



※ 既設の止水栓をそのまま使用する場合は、フランジ表面に固着したパッキンの残りをカッター等で完全に切り除いた後に新しいパッキンと交換してナットを取り付けてください。

2 連結管と排水管との接続

- 排水管に防臭栓 (化粧台付属) または排水ソケットを仮固定して、連結管を接続してください。
- 化粧台を仮置きして、連結管と化粧台が干渉していないか確認してください。
※ 連結管が逆勾配にならないように、連結管支持具のアジャスターを調整してください。
※ 床面から連結管上部までのB寸法が、化粧台底板と床面の隙間C寸法より小さくなるように、
① 排水管の高さを床面から25mm以下に切断する
② 連結管支持具のアジャスターを調整する、またはアジャスターを取り外す
※ それでも連結管が化粧台底板と干渉する場合は、連結管支持具を外して逆勾配にならないように連結管の下に当て木をしてください。25mm以下
③ 排水管まわりの床を削って、防臭栓または排水ソケットが床下に入るようにする以上のことを現場で行い調整してください。
- 防臭栓または排水ソケットを本固定 (接合) してください。

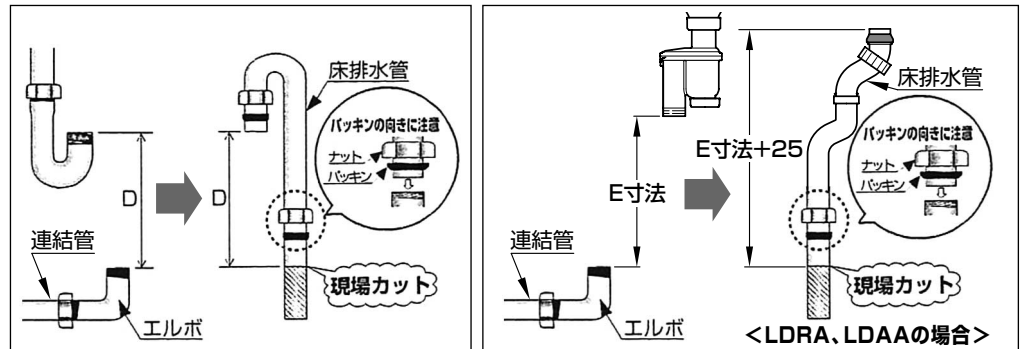


3 底板の穴あけおよび化粧台取り付け

- 化粧台の排水位置に合わせて底板に穴をあけ、化粧台を設置してください。
(洗面化粧台の組立・設置説明書を参照してください。)

4 床排水管の接続

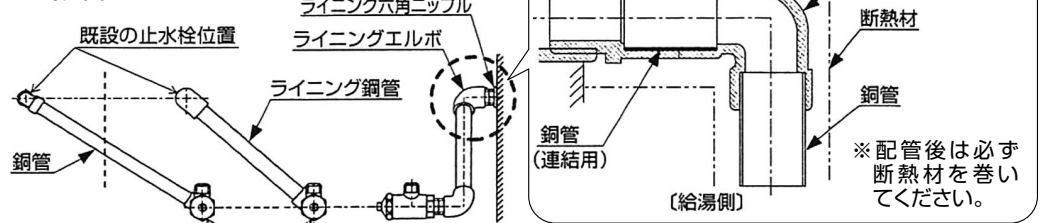
- 下図のD寸法またはE寸法を測定し、床排水管を図の斜線部分で切断して、床排水管とエルボをナットとパッキンで接続してください。
※ 各ナット部にゆるみがないか確認して、確実に締め付けてください。
※ LDRA、LDAAの場合パイプのカット寸法が異なります。



給水用リモデルユニット (化粧板セット L054)

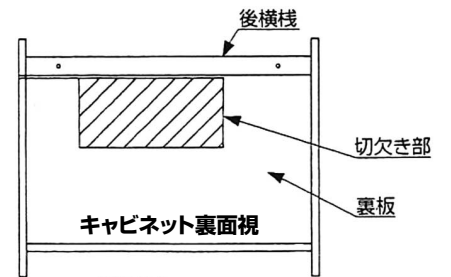
1 給水・給湯配管

- 現場調達部材を下図のように配管してください。
※ 洗面化粧台の組立・設置説明書を参考にして、標準止水栓位置になるように配管してください。



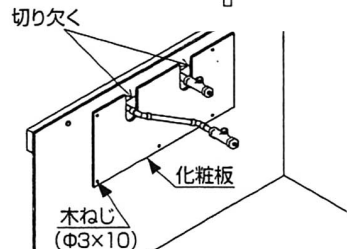
2 給水・給湯の穴あけ

- 給水・給湯配管とキャビネットの干渉する部分を、キャビネットの裏側より裏板を切り欠いてください。



3 化粧台の取り付けおよび化粧板の取り付け

- 化粧台を設置してください。
※ 洗面化粧台の組立・設置説明書を参照してください。
- 化粧板を図のように配管部分を切り欠いて、付属のねじ (φ3×L10) で取り付けてください。



※ 配管が水受けトレイと干渉する場合

化粧台がシャンプータイプの場合、配管の状況により給水・給湯配管が水受けトレイと干渉するおそれがあります。このような場合は、トレイ取り付け具裏側のリブを削るなどしてください。

【システムJの場合】

洗面化粧台がシステムJシリーズの場合、付属のスペーサーと一緒に水受けトレイを取り付けてください。水受けトレイを手前に出すことができます。

